

留学体験レポート

21016049 佐藤真実

1. はじめに

私は2017年8月から12月までの約4カ月の間、アメリカのセントラルミズーリ大学へ留学をしてきました。私は英語力の向上とアメリカ文化を自分の目で見て体験することを目的にこの留学に参加しました。私にとって海外に行くことも海外で生活することもこの留学が人生で初めての経験でした。そこでアメリカでの生活や学校生活について体験談を述べていきたいと思います。

2. アメリカでの生活

先ほども述べたように、私にとって海外に行くことは初めての体験でした。長時間飛行機に乗り、アメリカは本当に遠いなと感じました。私たちは大学の敷地内にある学生寮に住んでいました。私の部屋は4階だったのですが、その寮にはエレベーターが無かったため、昇り降りが少し大変でした。部屋は二人部屋でバスルームは隣の部屋と共同でした。買い物は、毎週火曜日に近くのスーパーマーケットまでのバスが出ていたのでそれを利用していました。食事は寮近くのダイニングホールで朝昼晩食べていました。毎日同じようなメニューだったので少し飽きたりもしました。そんな時は持参して行った日本食(味噌汁・白米)などを食べていました。気候は日本と大差はありませんでした。

3. 学校生活(授業)

私はセントラルミズーリ大学の Intensive English Program(IEP)という科で英語を学びました。IEPには世界各国から英語を学びに来ている人がたくさんいました。リーディング・ライティング・文法・コミュニケーションスキルのクラスはレベル別に分かれており、1クラス約15人、全部で4クラスありました。私のクラスには日本人の他に韓国人・サウジアラビア人・ヨルダン人の生徒たちがいました。英語を主言語としていない国の人々と英語を使ってコミュニケーションを取ることがとても新鮮で面白いと感じました。日本の大学(新潟国際情報大学)と違うなと感じた点は、まず、授業が1学期の中でも前半(8月～10月)と後半(10月～12月)があったということです。後半では少しレベルアップした内容の授業になりました。また、一コマの授業の中に休憩時間(15分)がありました。この休憩によって授業中の集中力が持続できたのではないかと思います。私が授業中に苦労したことは積極性が求められた点です。日本人以外のクラスメイトは皆、積極的に発言していましたが私を含め日本人はあまり積極的には発言できていなかったと感じました。授業はすべて英語で実施さ

れるため、最初は先生が何を言っているのか聞き取れないことも多くありましたが、帰る頃には来た時よりも分かるようになりました。また、アクセントリダクションという英語の発音練習の授業もあり、日本人には難しいとされる R と L の発音のトレーニングなどをしました。日本に帰って英語を話す機会があったのですが、その際に発音が上達したと褒められました。この留学を通して私の英語能力は本当に上達したと思います。

4. おわりに

初めての海外だったので、出発前は不安でいっぱいでした。最初の一カ月はホームシックで家に帰りたくて仕方ありませんでした。しかし、帰る頃には日本に帰りたくないと感じていました。4 か月間は長いようで本当にあっという間でした。日本では体験できないようなこともたくさん経験できました。この留学期間中にお世話になったセントラルミズーリ大学の先生方、友人はもちろんこの留学に行く機会を与えてくれた新潟国際情報大学、そして協力してくれた両親にはとても感謝しています。この経験を大事に今後も英語上達のため、今まで以上に学習に励みたいと思います。